第 212 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録 ~~(案)~~

１．日時　　2014 年 3 月 28 日(金)　10:00～14:30
２．開催場所　　新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」講義室 B
〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口 1 丁目 1 番地 プラーカ 2 階
３．出席者　　(順不同，敬称略，○：出席，×：欠席)

幹事団

田中委員長(東京都市大)	○	池田幹事(原子力規制委員会)	○	関口幹事(住友電工)	○
布施幹事補佐(電中研)	○	今井幹事補佐(東芝) 記	○		

１号委員（50 音順）

岡本委員(富士電機)	×	蔵田委員(明電舎)	×	小林委員(日立製作所)	×
近藤委員(日本ｶﾞｲｼ)	×	千綿委員(日立金属)	×	中坊委員(日新電機)	×
長尾委員(豊橋技術大)	○	菱川委員(ﾊﾝﾂﾏﾝ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ)	×	平野委員(東芝) 代理 今井	○
藤田委員(昭和電線)	○	穂積委員(豊橋技科大)	×	本城委員(三菱電線)	×
武藤委員(三菱電機)	○	八木委員(ビスキャス)	○		

２号委員（50 音順）

岩本委員(東工大)	×	江原(東京都市大)	×	永田委員(兵庫県立大)	×

オブザーバー委員（50 音順）

加藤委員(新潟大)	○	田中(祀)委員(早稲田大)	×	本間委員(電中研)	×

オブザーバー（50 音順）

熊田氏(東大)	○	平井氏(早大)	○	三宅氏(東京都市大)	○
村上氏(豊橋技科大)	○				

４．提出資料

番号なし　第 211 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録（案）
DEI-212-1　電気学会 誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿
DEI-212-2　調査専門委員会解散時の成果報告形態に関する覚書（案）
DEI-212-3　技術報告作成における引用転載許諾取得作業の注意点
DEI-212-4　先進ナノ構造制御と高性能有機デバイス・ライフサイエンス応用 調査専門委員会 設置趣意書（案）
DEI-212-5　第 12～15 回 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 調査専門委員会 議事録
DEI-212-6　電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望 調査専門委員会 第 4 回委員会 議事録
DEI-212-7　第 11 回 ナノ分子エレクトロニクスに関する国際会議 協賛のお願い

DEI-212-8　誘電絶縁分野におけるシミュレーション技術 調査専門委員会（仮称）検討用提案書
DEI-212-9　電気学会 基礎・材料・共通部門活動資金取り下げのお願い
DEI-212-10　調査専門委員会フォローシート（2014 年度計画）
DEI-212-11　平成 26 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定（1 次案）
DEI-212-12　2014 年 誘電絶縁材料研究会における発表の採点結果
DEI-212-13　優秀論文発表賞候補者推薦のお願い
DEI-212-14　誘電・絶縁材料技術委員会 表彰規程
DEI-212-15　誘電・絶縁材料技術委員会 表彰受賞者案選定 規程細目
DEI-212-16　表彰委員会の構成（案）
DEI-212-17-1 日韓若手研究表彰の提案について
DEI-212-17-2 日韓若手研究表彰の提案について 補足資料（穂積委員メール）

５．議事内容

5-1. 議事録の確認・承認（今井幹事補佐）

第 211 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)の確認を行い、承認された。

5-2. 名簿の確認（布施幹事補佐）

資料 DEI-212-1 に基づき、委員の所属等について確認を行った。年度が替わり部署名などに変更がある場合は、布施幹事補佐に連絡する。

また、下記の交代が承認された。

- 幹事：池田(原子力規制委員会) → 西川先生（芝浦工大）
- A 部門編集委員：池田(原子力規制委員会) → 藤田委員（昭和電線）
- 蔵田委員(明電舎) → オブザーバー委員とする

5-3. 第 99 回 基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会での議事内容報告（田中委員長）

資料 DEI-212-2 および-3 に基づき、基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会(A 部門運営委員会)議事内容において、当技術委員会に関係の深い事項が報告された。

- 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 解散報告書が承認された。
- 2014 年(平成 26 年)の A 部門大会は信州大学、2015 年(平成 27 年)の A 部門大会は金沢大学で開催されることが決定している。
- 調査専門委員会の解散時における成果報告の形態として、技術報告以外の成果報告も認められることを部門内で認識するため覚書を作成中である。成果報告の形態は、調査専門委員会の途中で、設置趣意書に記載の形態から変更することも可能としている。
- 技術報告における引用転載許諾取得作業の注意点について、電気学会がまとめている。本注意点は電気学会ウェブサイトから閲覧できる。
- 未提出の技術報告についてのフォローはなし(但し、当技術委員会として早急な対策が必要)。

- 2013 年度における若手セミナーおよび絶縁シンポジウムの A 部門活動資金 報告書の提出を確認する。
- EINA マガジンの配布先で、輸出貿易管理令等に関する該非判定で、規制対象となる国が含まれていた。該当の国には配布しないことで対応済み。
- A 部門大会におけるテーマ付きセッションの提案要請があった。

5-4. 先進ナノ構造制御と高性能有機デバイス・ライフサイエンス応用 調査専門委員会 設置趣意書の審議（加藤委員）

資料 DEI-212-4 に基づき、先進ナノ構造制御と高性能有機デバイス・ライフサイエンス応用 調査専門委員会の設置についての審議を行い、承認された。設置趣意書については、下記の修正をする。

- 調査開始時期を 2014 年 7 月に修正する。
- 報告形態については、研究会や全国大会・部門大会シンポジウムでの発表をもって報告とする。
- 当技術委員会内での略称を、「ナノ構造制御調査専門委員会」とする。

5-5. 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 調査専門委員会 第 12～15 回 議事録の報告（加藤委員）

資料 DEI-212-5 に基づき、新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御 調査専門委員会 第 12～15 回 議事録が報告された。

5-6. 電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望 調査専門委員会 第 2, 3 回議事録の報告（池田幹事）

資料 DEI-212-6 に基づき、電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望 調査専門委員会の第 4 回の議事録が報告された。来年の全国大会シンポジウムの開催を検討する。

5-7. 第 11 回 ナノ分子エレクトロニクスに関する国際会議 協賛のについて

資料 DEI-212-7 に基づき、第 11 回 ナノ分子エレクトロニクスに関する国際会議 協賛についての審議を行い、承認された。

5-8. 誘電絶縁分野におけるシミュレーション技術 調査専門委員会 (仮称) について

資料 DEI-212-8 に基づき、誘電絶縁分野におけるシミュレーション技術 調査専門委員会(仮称)についての検討を行い、下記の意見があった。

- 調査専門委員会の成果として、英語版の技術報告を作成したい。
- 調査専門委員会ではなく、共同検討会として活動するのはどうか？(EINA マガジンと同じ活動形態)
- 共同検討会としての活動について、A 部門運営委員会へ提案する。

5-9. 電気学会 基礎・材料・共通部門活動資金取り下げのお願いについて（今井幹事補佐）

資料 DEI-212-9 に基づき、ナノコンポジット調査専門委員会における下記の提案につい

て審議を行い、承認された。

- 技術報告単行本の英語化費用として承認されていた 2013 年度分の基礎・材料・共通部門活動資金の取り下げ。
- 技術報告単行本の英語化費用として、2014 年度分の基礎・材料・共通部門活動資金の申請。

5-10. 調査専門委員会活動状況の確認（池田幹事）

資料 DEI-212-10 に基づき、調査専門委員会活動状況の確認を行なった。

- 電子材料の次世代エレクトロニクスへの応用に関する（委員長：岩本委員）
  - 2014 年 4 月に第 1 回委員会を開催予定。
- 技術伝承を目的とした電力設備の絶縁診断（委員長：岩本委員）
  - 2014 年 1 月 22 日に、委員会を開催済み。
  - 2014 年 4 月 18 日に、委員会を開催予定。
- インバータ駆動モータコイルの絶縁評価法（委員長：永田委員）
  - 報告なし(技術委員会に出席できない場合は、議事録を送付してもらうように連絡する)
- 電力機器の革新的診断技術の現状と将来展望（委員長：池田幹事）
  - 2014 年 1 月 17 日に、委員会を開催済み。
  - 2014 年 4 月に幹事会、5 月に委員会を開催予定。
- 新機能・高性能有機デバイス応用のためのナノ材料・構造制御（委員長：加藤委員）
  - 2014 年 3 月に解散済み。
  - 解散報告書提出済み。
  - 技術報告書を作成中。
- アジア地区における有機誘電体・導電性電気電子材料研究の最前線に関する（委員長：岩本委員）
  - 2013 年 10 月 31 日付けで解散済み。
  - 2014 年 3 月に技術報告原稿を提出済み。
- 屋外用ポリマー絶縁材料の性能評価・改質技術（委員長：本間委員）
  - 2013 年 3 月に解散済み。技術報告を作成中。
- 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能（委員長：本間委員）
  - 2008 年 12 月に解散済み。技術報告を作成中（本文は完成，引用転載許諾手続き中)。
  - 屋外ポリマー絶縁に関する 2 つの技術報告を、1 つにまとめることも検討する。
- PEA 法による空間電荷分布測定の校正法標準化と応用測定の開発（委員長：田中委員長）
  - 2012 年 2 月に解散済み。技術報告を作成中。
- 高電界電気絶縁における電荷挙動と界面（委員長：長尾委員）
  - 2005 年 6 月に解散済み。技術報告を作成中（引用転載許諾見直し中）
  - PEA 法に関する 2 つの技術報告を、1 つにまとめることも検討する。
- 高分子材料と放射線の相互作用評価（委員長：田中委員長）
  - 2008 年 5 月に解散済み。技術報告を作成中。

5-11. 平成 25 年度 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定の確認（池田幹事）

資料 DEI-212-11 に基づき、平成 26 年度(2014 年度) 誘電・絶縁材料研究会，技術委員会，その他行事予定(3 次案)の確認を行った。

- 2014 年 6 月 5 日に、第 213 回技術委員会を開催する。
- 2014 年 7 月 10 日に、ナノ構造制御の研究会を、長野県上田で開催する。
- 2014 年 9 月 8 日に、第 214 回技術委員会を開催する。
- 2014 年 11 月に、秋田で研究会(ケーブルシステムの絶縁技術・トリー・トラッキング)を開催する。毎年開催することとする。
- 2014 年 12 月に、名古屋で研究会(空間電荷・ナノコンポジット)を開催する。取り纏めを、村上先生(豊橋技科大)にお願いする。また、研究会(空間電荷・ナノコンポジット)は、毎年開催し、東京地区と名古屋地区で交互に開催することとする。
- 2015 年 1 月に、タイでの研究会(ナノ構造制御)の開催を検討中。
- 2015 年 1 月に、放電技術委員会，高電圧技術委員会との共催の研究会(真空放電・気体放電・液体放電・放電・高電圧・材料一般)を開催予定。
- インバータ駆動モータコイル関係の研究会の関西方面での開催を永田委員(兵庫県立大)に依頼する。

5-12. 2014 年 誘電絶縁材料研究会における発表の採点結果（関口幹事）

資料 DEI-212-12 に基づき、2014 年 誘電絶縁材料研究会における発表の採点結果(途中結果)が報告された。2014 年 1 月 23, 24 日に開催された放電・高電圧・誘電絶縁材料の合同研究会からの候補者は、放電技術委員会での採点結果から候補者を選択する。

5-13. 優秀論文発表賞候補者推薦について（関口幹事）

資料 DEI-212-13 に基づき、当技術委員会における優秀論文発表賞候補者推薦の採点方法と採点用紙が報告された。今後は、この採点方法と採点用紙を用いて、各研究会における候補者を選出する。

5-14. 誘電・絶縁材料技術委員会 表彰規程について（関口幹事）

資料 DEI-212-14 および-15 に基づき、誘電・絶縁材料技術委員会 表彰規程および規定細目の審議を行い、承認された。

5-15. 表彰委員会の構成について（関口幹事）

資料 DEI-212-16 に基づき、表彰委員会の委員について検討を行い、下記の委員を選出した。

- 過去の受賞者 : 大木先生（早稲田大），長尾先生（豊橋技科大）
- 大学若手 : 小迫先生（九州工大），新保先生（新潟大）
- 民間（重電メーカー） : 武藤委員（三菱電機）
- 民間（ケーブル・碍子メーカー） : 八木委員（ビスキャス）
- 民間（民間研究所・その他） : 電中研内で調整する

5-16. 韓若手研究表彰について（田中委員長）

資料 DEI-212-17-1 および-17-2 に基づき、韓若手研究表彰について検討を行ない、下記のように取り決めた。

- 韓若手研究表彰の内容については問題なし。
- 費用についての検討を進める。

６．次回(第 213 回)技術委員会の開催

第 213 回 誘電・絶縁材料技術委員会は、2014 年 6 月 5 日に、新潟にて開催する。

－以上－